和教時報

2023年５月15日（月）発行　第1997号（毎月15日発行）
発行所／〒640-8269 和歌山市小松原通3-20　和歌山県教職員組合
TEL 073-423-2261　FAX 073-436-3243　情宣部長／山口法之
1部　20円（購読料は組合費に含みます）

和教組ゆるキャラ みばん

6月3日(土)は和教組大会

ワクワクするような大会を みんなでつくりましょう！

和教組　書記長　川口　貴生

和教組大会は、一年に一度、支部から選出された代議員が集まって、一年間の取り組みを総括し、今年度の運動方針を決定する重要な会議です。今年は四年ぶりにオンラインを使わず実施することにしています。みなさんのご参加とご理解・ご協力をよろしくお願いします。

コロナ禍の中で、オンラインの活用が広がりました。でも、その一方で、オンラインでは伝わらないものがあることも明らかになってきました。それは、会議の場の熱気や一体感です。コロナが収まりつつある今年、執行部で論議し、以前のような実参加のみの大会とすることにしました。

昨年以降、ウクライナでの戦争が続き、関連して物価の高騰が国民生活を直撃しています。しかし、岸田首相が行ったことは、国民のくらしを立て直すことではなく、戦争の危機をあおり大軍拡に予算をつぎ込むことでした。こうした政治のもとで、「働き方改革」と口にはするものの教育予算は増やされず、学校の多忙は一向に解消されていません。

和教組は、そんな中でも妊娠した教職員が安心して仕事できるよう署名を集め、「先読み加配」を実現し、会計年度任用職員の一時金の引上げや、臨時的任用職員の待遇改善など、貴重な前進を勝ち取ってきました。各支部、専門部では少しずつ学習会などを増やし、「集まれてよかった」という声が各地に広がりました。

今年度は、この経験の上に、さらに集まる機会を増やし、組合にしかできないことをたくさん行う年にしましょう。教研集会などでお互いの授業実践について話し合い、県教委の学テ体制の誤りを正していくことが重要です。また、大幅賃上げや、給特法改正の動きを多忙解消につなげていくこと、外国籍教員への差別解消、臨時教職員のさらなる待遇改善、そして大軍拡ストップなど、これらの課題への取り組みが求められています。

力を合わせれば前進することを実感できるワクワクするような大会を、みんなでつくり上げていきましょう。

輝いてワンショット

裏方は大変！

（県中央メーデーより）

ピンのスポット 409

コロナウイルス感染症が五月八日よりインフルエンザなどと同じく五類に引き下げられました。

学校現場の感染対策で大きく変わったのは、マスクの着用です。文科省は、四月一日以降、教育活動にあたって、「マスクの着用を求めないこと」を基本とするとしています。

本来マスクをつけるつけないは、子どもたちが決めたら良いことではないでしょうか？

この間、職場の様子を聞いてみると、中学生はほとんどがマスクをしたままだそうです。子ども（小四）の授業参観に行ったら、授業を行っている教員はマスク着用、子どもたちのほとんどもマスクを着用していました。

夏になって暑くなれば、マスクを外す子どもも増えてくるのでしょうが、早く感染の心配なく学校へ通えるようになったらいいのになあと思います。（N）

東牟婁支部

スタート講座

はじめのい～っぽ2023

「はじめのいっぽ」を大切に、これから一年間どんな学級にしていこうかな。

みんな何を大切にして学級づくりをしているのだろう?どんな「学級通信」を発行し、どんな「家庭訪問」をしているのだろう?部活動担当するのにどうすればいい?子ども達といっしょに楽しめる「パパッと工作」は?…新学期スタートミニ講座を開催しました。

二年間、直前になって取りやめるなど、新型コロナ感染拡大に振り回されてきましたが、今年はなんとか開催できました。チラシのQRコードで五名の方からの申込みもあり、当日は一七名の参加でした。

ミニ講座は、「私の学級びらき（小学校）」「私の授業びらき（中学校）」「〇〇を大切にする一年間」「作って遊ぼう!パパッと工作」「部活動、大切にしたいこと」の五本で、質問や交流を深めました。講座の後、展示していた学級だよりや教材教具を手に取り、話に花が咲いていました。

また、このような機会を持ちたいと考えています。

日高支部

スタート講座・事務びらき

悩みを出して、つながり作って

日高支部　書記長　寒川　幸久

▲「教えて！日高のせんぱい」の様子

四月六日に「教えて!日高のせんぱい」と題してスタート講座を開催。新たに教職へ就く先生を含め、二二名が参加しました。

小学校低・中学年、小学校高学年・中学校、障害児学級の三つのグループに分かれて交流を行い、新学期をむかえる不安などが出されました。会場では学級の掲示物の見本や読み聞かせにおすすめの絵本などの展示も行いました。

また四月八日には、事務職員部の「事務びらき」を開催。新採者や年度末の異動で県立校から転入してきた方を含む一七名が参加し、年度初めの事務処理で分からない点や悩み、それぞれの学校の様子について交流しました。

それぞれのとりくみで出された悩みに対し、先輩の先生が自らの体験をもとに回答していました。スタート講座では、ある先生が「手元に置いておくと便利なもの」として、提出物をまとめるカゴやチャック付ポリ袋を紹介し、また、ある先生は「障害児学級の机の配置の工夫」を紹介し、具体的な活用場面を説明していました。

事務びらきでは、小中学校の事務職員は学校に一人で、職場で仕事のことについて相談できないこともあり、横のつながりを広げる良い機会となりました。

▶「事務びらき」の様子

和歌山市支部
基礎講座

子どもの思いを大切にする学級づくり

和歌山市支部　中之島小分会　岸本　将宏

○子どもとの出会いを大切に

今回は、元芦原小学校校長の栩野真一先生に講師として来ていただきました。先生のこれまでの実践や子どもとの向き合い方からたくさんのことを学ぶことができました。

実践の中では、子どもが本気で教材や地域に向き合う姿がたくさん語られました。子どもたちがやりたいことを叶えていく姿や、生活科で大切にしないといけないことなどたくさん学べた時間でした。

現場にはたくさんの困り感を持った子どもたちがいますし、その子たちに対して悩むこともたくさんありますが、思い返したときに「かわいらしい子たち」と思えるように、出会いを大切にしながら活動していきたいと思いました。

○グループワークでの様子

グループワークでは、低学年・中学年・高学年に分かれて学級開きについて話し合いをしました。様々な先生の不安や悩みを、ベテランの先生や「こんなことしてみたい！」と意気込んでいる先生たちのアイデアから解決できる時間になりました。

それぞれが思い描く「学級開き」があって、型や形式に縛られない様々なアイデアが出てきてとても面白かったです。これからも様々な悩みや工夫を交流しながらみんなで進んでいけたらいいなと思いました。

有田支部
養護教員部学習交流会

ホッと一息つきながら

有田支部　宮原小分会　大浦　真希子

今年度第一回目の交流会には、三月まで訪問看護をされていて、四月から養護助教諭として小学校に赴任された方にも参加していただき、八人が集まりました。みんなで軽食をつまみながら年度初めの忙しかった一週間を共有しました。

学校での勤務が初めての助教諭の方にとっては、分からないことを尋ねる相手もなく、気の張り詰めた一週間だったようですが、いろんな疑問点や不安なことを話してくれ、ちょっと一息つけたようです。

その後も、助教諭の方の質問に答えながら、年度初めの学校や保健室の進捗状況や、新学期の新型コロナ予防対策のことなどについて交流し合いました。また、医療ケアを必要とする子どもに対しての、養護教諭の対応の仕方などについても交流しました。今年度の養護部の体制や、これからの活動内容についても話し合うことができました。

毎年のように慌ただしく始まった今年度ですが、養護部はたまに集まって、今日のようにホッと一息つきながら、職場の現状や保健室の活動の交流をしていきたいと思っています。

ぜひ あなたにも 読んでいただきたい この一冊

9

「くれよんのくろくん」

東牟婁支部　三輪崎小分会　中西　弘美

『くれよんたちは、画用紙に絵を描き始めますが、くろくんだけは、仲間にいれてもらえません。その後、夢中になりすぎて絵がめちゃくちゃに。シャープペンのお兄さんの助言で、くろくんはみんなの絵を真っ黒に塗ります。みんなは、くろくんを責めます。すると、シャープペンのお兄さんが体をすべらせ、くろくんが塗った黒を削っていくと…すてきな花火が出来上がる。』というお話です。

低学年の学級びらきでこの本を扱った経験を紹介します。このときの学級通信のタイトルは「にじいろ」。大きな虹を見せて、「どうしてにじはきれいなのかな?」と聞くと、「いろんな色があるから!」と子ども達。「じゃあ…」と言って、おもむろに絵の具を出し、好きな色を聞いてどんどん絵の具を混ぜていきます。もちろん、黒が好きな子もいて、黒も混ぜました。すると、到底きれいとはいえない色になりました。「にじはきれいなのになぜ…」「だって、一つひとつがきれいに長くのびてるよ」（→自分のよさをのばそう）「違う色のところにいってないもん」（→ルールをまもろう）という子ども達の気付きから「にじいろ」に込めた想いを話しました。

それでも「やっぱり、黒はいらないよ」と子ども達。そこで、この絵本を読み聞かせしたのです。花火を見た瞬間の子ども達の瞳は輝いていました。読み終わると、「黒も大事やね」という声も。この絵本は、「みんなには一人ひとりいいところがある」ことを感じさせてくれる一冊です。「くれよんのくろくん」シリーズは、子ども達や私にとって大好きな本になりました。

全教共済2023年度募集中
ますます充実！ この機会に保険の見直しを！
生命共済　火災共済
医療共済　傷害共済
医療共済終身タイプ
あなたをひとりにしません
共済期間
2023 8/1 ▶ 2024 7/31
申込み〆切 6/26
加入及びお問い合わせは和教組各支部まで
資料請求はこちらから
和歌山県教職員共済会 〒640-8269 和歌山市小松原3-20(教育会館1F)
TEL073-436-7860　FAX073-436-8688

安心と信頼
教職員のための
『教弘保険』
（公財）日本教育公務員弘済会　和歌山支部
提携保険会社：ジブラルタ生命保険株式会社
■和歌山第一営業所　073-421-8250　■和歌山第二営業所　073-421-8250　■和歌山第三営業所　073-421-8250
■橋本営業所　0736-33-1620　■田辺営業所　0739-22-5751　■新宮営業所　0735-22-0101